

クラスター	社会医学系クラスター			
授業科目名	法医学・実習			
担当者名	責任者	美作 宗太郎	分担者	—
単位数	1単位(選択)		配当年次	1年次
授業形態	その他		実施場所	授業計画の〔実施場所〕を参照
開講期間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します			
開講曜日・時間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します			

#### 授業の概要・到達目標

授業の目的:本科目では、我が国における異状死体の取り扱いシステムを学び、死体検案・法医解剖・死後画像診断の手法を知るとともに、医師が知っておくべき法的知識や、突然死、小児法医学、医療事故などの社会的な問題点についても理解を深めることを目的としている。

授業の到達目標:法医学の実情を知り、死因究明の重要性を理解する。

授業の概要:講義のテーマとしては、下記のテーマを選択できる。

1. 法医学概論:法医学の歴史と社会的役割について解説する。
  2. 解剖制度をめぐる諸問題:我が国の解剖制度をめぐる法制度上の諸問題を提起し、法医解剖の意義、必要性を解説する。
  3. 異状死体の取り扱いと死体検案:医師として必要な死体検案の知識を解説する。
  4. 医師と法:医師が知っておくべき法的知識を解説する。
  5. 突然死:突然死を引き起こす疾患・病態について解説する。
  6. 小児法医学:乳幼児突然死や子どもの虐待について解説する。
  7. 法医学における個人識別:身元不明死体では身元の確認が必須である。法医学的な身元確認の手段・方法について解説する。
  8. 法医画像診断学:CT、パノラマX線撮影装置、超音波診断装置などの法医診断学的応用について解説する。
  9. 医療事故:近年、社会問題となっている医療関連死について解説する。
- また、講義の他に、法医解剖見学、法医CTカンファレンス参加、症例検討会参加等も単位取得の選択肢としている。受講者には守秘義務を厳守して頂くことを確約して頂きたい。

#### 授業計画

	講 義 題 目 (講 義 内 容)	担当教員	講座名 〔実施場所〕
1	『授業の概要』にある9つのテーマの中から1つ選択する	美作 宗太郎	法医学 〔講座セミナール室〕
2	法医CTカンファレンス	美作 宗太郎	法医学 〔講座セミナール室〕など
3	症例検討会	美作 宗太郎	法医学 〔講座セミナール室〕など
4	法医解剖見学	美作 宗太郎	法医学 〔法医解剖室〕

#### 授業形態および成績の評価方法・基準

講義室(研究室)での講義30時間+自学自習15時間、計45時間で1単位とし、評価は選択した講義、カンファレンスなどへの出席、積極性等を考慮して行う。

#### 問い合わせ先(氏名、メールアドレス等)

美作 宗太郎, mimasaka@med.akita-u.ac.jp

#### その他特記事項

履修に関する情報:社会人大学院生など、勤務等で予定通り出席できない場合には日程の調整に応じる。

※ 受講希望者は事前に担当教員に連絡をとり、内容・日時を確認すること。

※ 法医解剖は随時行われるので、日時が変更になることもある。

※ 受講者が少人数の場合は、受講者の都合を考慮するので、早めに申し出て頂きたい。

※ 開講回数が少ないので、出欠を重視する。欠席が多く、本科目の単位を履修出来ない可能性がある受講者は、早い時期に他の科目を履修し直して頂くことがある。

※ 授業形態は、講義、法医解剖見学、法医CTカンファレンス参加、症例検討会参加等から選択する。教科書・参考文献:選択したテーマに応じて、適宜紹介する。

自学自習時間における学習内容:到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。

クラスター	社会医学系クラスター			
授業科目名	臨床疫学研究			
担当者名	責任者	野村 恭子	分担者	—
単位数	1単位(選択)		配当年次	1年次
授業形態	Web Class	実施場所	授業計画の〔実施場所〕を参照	
開講期間	2021年4月下旬～2021年12月31日			
開講曜日・時間	—			
授業の概要・到達目標				
<p>授業の目的: 臨床現場での問題・課題設定, 研究計画立案のプロセス全般について必要な知識を対話形式にて学ぶことを目的とする。</p> <p>授業の到達目標: 研究仮説の設定, 文献検索, 仮説にあった統計モデルの選択, データセットの作り方, サンプルサイズの見積もり方を学び, 研究計画書を書くことを目標とする。</p> <p>授業の概要:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床疫学研究の基本的考え方 ～仮説の立て方～</li> <li>2. 文献検索の仕方</li> <li>3. 論文の書き方</li> <li>4. 研究デザインの選定</li> <li>5. 仮説にあった統計モデルの選び方とサンプルサイズの決定方法</li> <li>6. データセットの作成方法と研究計画書の書き方</li> </ol>				
授業計画				
	講義 (講義内容)	題目 (内容)	担当教員	講座名 〔実施場所〕
1	臨床疫学研究の基本的考え方 ～仮説の立て方～		野村 恭子	衛生学・公衆衛生学 〔Web Class〕
2				
3	文献検索の仕方		野村 恭子	
4				
5	論文の書き方		野村 恭子	
6				
7	研究デザインの選定		野村 恭子	
8				
9	仮説にあった統計モデルの選び方とサンプルサイズの決定方法		野村 恭子	
10				
11	データセットの作成方法と研究計画書の書き方		野村 恭子	
12				
授業形態および成績の評価方法・基準				
<p>Webclassでの講義30時間＋自学自習15時間, 計45時間で1単位とし, 評価は提出したレポートの内容を考慮して行う。課題は, 研究仮説を立案し, 研究計画書を作成する。詳細については, 講義題目『データセットの作成方法と研究計画書の書き方』において概説する。</p>				
問い合わせ先(氏名, メールアドレス等)				
野村 恭子, knomura@med.akita-u.ac.jp				
その他特記事項				
<p>履修に関する情報: WebClassにて講義を各自視聴する。 ※視聴推奨期間 4月下旬～12月31日 ・地域健康増進系クラスター『疫学研究』を科目履修登録した上で, 事前に受講しておくことが望ましい。</p> <p>教科書・参考文献: 必要に応じて資料を配付する。または, 文献を指定する。 自学自習時間における学習内容: 到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。</p>				

クラスター	社会医学系クラスター			
授業科目名	医療情報システム学・実習			
担当者名	責任者	片平 昌幸	分担者	大佐賀 敦
単位数	1単位(選択)		配当年次	1, 2年次
授業形態	講義:1~3,6~8 実習:5~7,9 WebClass:4,10	実施場所	授業計画の[実施場所]を参照	
開講期間	2021年9月~2021年10月(日程の詳細は応相談)			
開講曜日・時間	毎週火曜日 18:00~21:00(日程の詳細は応相談)			

### 授業の概要・到達目標

授業の目的: 医療情報システムに必要な要件, 実装技術, セキュリティ等について理解することを目的とする。  
 授業の到達目標: 医療情報システムに必要な要件, 実装技術, セキュリティ等を習得し, 実践することを目標とする。

#### 授業の概要:

- 第1回(講義):【医療情報システム・電子カルテシステムが備えるべき要件】(9/7予定)  
 これからの時代における医療情報システム・電子カルテシステムが備えるべき要件について, 社会的背景と技術的背景の両面から考察し, 具体的に実装すべき要件を詳説する。
- 第2回(講義):【医療機関におけるワークフローと電子カルテシステム】(9/14予定)  
 医療機関において, どのような流れで情報が利用されているのか, すなわち業務のワークフロー分析を解説し, 電子カルテシステムへの実装技術を解説する。また, ワークフローやログの分析に基づく最適化されたユーザーインターフェース設計についても解説する。
- 第3回(講義):【医療情報における標準化と相互運用性】(9/21予定)  
 医療情報交換の国際標準規格HL7(Health Level 7)や, 医用画像とその通信の国際標準規格DICOM, 我が国で定められ, 実地医療で利用されている標準規格について詳説し, 医療情報の相互運用性についての理解を深める。
- 第4回(WebClass): WebClassによる復習
- 第5回(実習):【医療機関におけるワークフローとシステム実装技術の実際】(9/28予定)  
 第2回, 第3回の講義で習得したワークフロー分析とシステムの相互運用性の知識をもとに, 実際の医療機関での部門間業務連携や地域医療連携に関するシステムを見学し, 相互運用性の理解を深める。
- 第6回(講義, 実習):【医療情報と個人情報保護】(10/5予定)  
 マイナンバー制度の施行や個人情報保護法改正などの社会動向も踏まえ, 機微性の高い医療情報と個人情報保護について, 法制度などの詳説を行う。合わせて, 匿名化の手法や情報の二次利用のあり方などについて, 実例をもとに考察する。
- 第7回(講義, 実習):【医療情報ネットワークとセキュリティ】(10/12予定)  
 医療情報と言う, 極めて守秘性が高くかつ公益性の高い情報を, ネットワークを通じて交換するにあたって必要なセキュリティ要件について解説し, その実装について学ぶ。
- 第8回(講義):【病院情報システムのユーザビリティ】(10/19予定)  
 病院業務の大半が情報システムを介して行われている状況において, 医療者にとって使いやすい業務システムのあり方について, 一般的なOS, オフィスアプリケーションおよび病院情報システムを例に, ユーザビリティ, ユーザーインターフェースの観点から講義する。
- 第9回(実習):【レポート作成と総合討議】(10/26予定)  
 本科目で学習した内容の中からあらかじめ課題を決め, レポートを作成するとともに, 授業のまとめとして総合的なディスカッションをする。
- 第10回(WebClass): WebClassによる総復習およびレポート提出

	講 義 題 目 (講 義 内 容)	担当教員	講座名 〔実施場所〕
1	医療情報システム・電子カルテシステムが備えるべき要件	大佐賀 敦	医療情報学 〔附属病院B1F・医療情報部カンファレンスルーム〕
2	医療機関におけるワークフローと電子カルテシステム	大佐賀 敦	
3	医療情報における標準化と相互運用性	大佐賀 敦	
4	WebClassによる復習	大佐賀 敦	医療情報学〔WebClass〕
5	医療機関におけるワークフローとシステム実装技術の実際	大佐賀 敦	医療情報学 〔講座カンファレンスルーム〕
6	医療情報と個人情報保護	近藤 克幸 (非常勤講師)	(秋田大学) 〔講座カンファレンスルーム〕
7	医療情報ネットワークとセキュリティ	片平 昌幸	医療情報学 〔基礎医学研究1階 コンピュータールーム〕
8	病院情報システムのユーザビリティ	大佐賀 敦	医療情報学 〔講座カンファレンスルーム〕
9	レポート作成と総合討議	大佐賀 敦	
10	WebClassによる総復習・レポート提出	大佐賀 敦	医療情報学〔WebClass〕

### 授業形態および成績の評価方法・基準

講義室での講義・実習30時間+自学自習15時間, 計45時間で1単位とし, 評価は出席状況と口頭試問および筆記試験の結果, 提出したレポートの内容を考慮して行う。

### 問い合わせ先(氏名, メールアドレス等)

片平 昌幸, katahira@med.akita-u.ac.jp

### その他特記事項

履修に関する情報: 社会人大学院生など, 勤務等で実習に出席できない場合には日程の調整に応じます。  
 教科書・参考文献: 必要に応じて資料を配付する。または, 文献を指定する。  
 自学自習時間における学習内容: 到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。

クラスター	社会医学系クラスター			
授業科目名	医学英語・活用実習			
担当者名	責任者	Wood, Donald C.	分担者	—
単位数	1単位(選択)		配当年次	1, 2年次
授業形態	講義	実施場所	授業計画の〔実施場所〕を参照	
開講期間	2021年4月～2021年7月			
開講曜日・時間	毎週水曜 8:50～10:20(調整可能・夜間不可能)			
授業の概要・到達目標				
<p>授業の目的: To help students learn how to write biomedical research papers in English, and to give them exposure to global health, disease, and medical issues through a firm introduction to medical anthropology. There will be some required readings and a writing assignment. Students will be required to prepare and execute a short academic presentation on the last day of class. There is no need for students to purchase a textbook. The exact contents of, and plan for, the course will be decided on the first class day, as these will depend on the students' English abilities and on their specific needs.</p> <p>授業の到達目標: By the end of the course, students should have a fuller understanding of the relations between culture and health, disease and healing, be better able to consider healthcare from a critical perspective, and be better prepared to present research findings in English – orally and in writing.</p> <p>授業の概要: See detailed schedule below</p>				
授業計画				
	講義 (講義)	題目 (内容)	担当教員	講座名 〔実施場所〕
1	Introduce/explain course, assess student levels / needs, etc.		Wood, Donald C. 准教授	医学教育学 〔基礎医学研究棟1階大学院共用室〕
2	Cultural Anthropology, ethnography, culture, etc.			
3	Scientific papers in English, continued (research reports)			
4	Medical anthropology introduction (1)			
5	Scientific papers in English, continued (research reports)			
6	Medical anthropology introduction (1)			
7	Scientific papers in English, continued (research reports)			
8	Pregnancy and childbirth in Liberia (slides & film)			
9	Scientific papers in English, continued (research reports)			
10	Disease, health, and healing in different cultures			
11	Scientific papers in English, continued (research reports)			
12	Ethnographic film – Introduction with slides & watch			
13	Scientific papers in English, continued (research reports)			
14	The healing power of belief, applied medical anthropology and development			
15	Scientific papers in English – reviews, metaanalyses, etc.			
16	Global health inequalities, Paul Farmer's vision, contemporary biomedicine (USA example)			
17	Scientific papers in English – reviews, metaanalyses, etc.			
18	Sicko, modern biomedical systems, disease in human history			
19	final exam (intro. to med. anth.) + reports due			
20	student presentations + wrap-up, endings			
授業形態および成績の評価方法・基準				
教室か研究室での実習＋自習，計30時間で1単位とし，評価は出席，期末試験，レポートと発表によっておこなう。				
問い合わせ先(氏名，メールアドレス等)				
Wood, Donald C.      wood@med.akita-u.ac.jp				
その他特記事項				
履修に関する情報: Class lectures (2,4,6,8,10,12,14,16,18) will be presented as web/video lectures. 教科書・参考文献: 教員が用意します。 自学自習時間における学習内容: 到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。				

クラスター	社会医学系系クラスター		
授業科目名	がんの生物学と社会医学		
担当者名	責任者	大森 泰文	分担者
単位数	1単位(選択)		配当年次
授業形態	Web Class		実施場所
開講期間	2021年4月下旬頃から2021年12月31日まで		
開講曜日・時間	—		
授業の概要・到達目標			
<p>授業の目的:がんという疾患概念を理解するために癌の分子細胞生物学的な特性およびその解析手段, 癌の社会医学的側面(がんの疫学, がん登録, がん医療の倫理, 抗がん剤)の臨床試験について理解することを目的とする。</p> <p>授業の到達目標:がんという疾患概念を理解するために癌の分子細胞生物学的な特性およびその解析手段, 癌の社会医学的側面(がんの疫学, がん登録, がん医療の倫理, 抗がん剤)の臨床試験について理解し, 説明することを目標とする。</p> <p>授業の概要:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. がんの疾患概念, がんの分子細胞生物学的特性</li> <li>2. がんの遺伝子発現, シグナル伝達, 増殖・分化制御機構</li> <li>3. がんの統計, 予防, 検診など</li> <li>4. 薬剤の臨床試験, 有効性と安全性の評価, 臨床研究の科学性</li> <li>5. がん登録の方法と意義</li> <li>6. がん医療における倫理とその実践</li> </ol>			
授業計画			
	講義 (講義)	題目 (内容)	担当教員
1	がん細胞生物学Ⅰ		大森 泰文
2	がん細胞生物学Ⅱ		
3	肝・胆道系腫瘍の分子病理学		
4	腫瘍の進展と転移		
5	がん医療における倫理		
6	がん登録の方法と意義		
7			
8			
9			
10			
授業形態および成績の評価方法・基準			
成績の評価は, 提出したレポートの内容を考慮して行う。			
問い合わせ先(氏名, メールアドレス等)			
大森 泰文, yasu@med.akita-u.ac.jp			
その他特記事項			
履修に関する情報:Web Classにより, 講義を各自視聴してください。視聴期間:4月下旬~12月31日 教科書・参考文献:特になし 自学自習時間における学習内容:到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。			